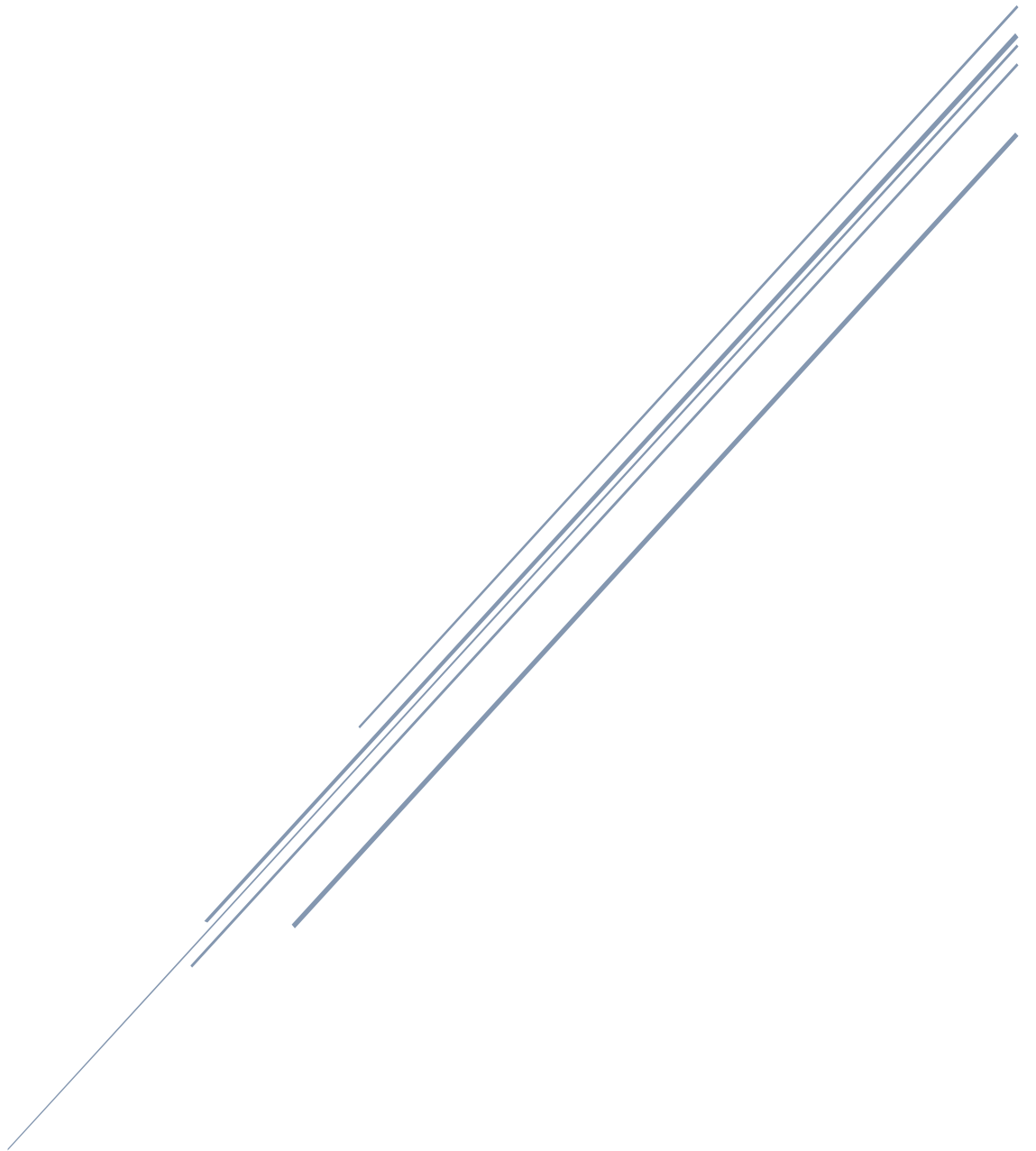


タイミング・フローチャート 支援マクロ

取扱説明書



2017 年 7 月 3 日作成

1. 目的	1
2. 基本的な使用方法	1
3. マクロ画面の説明	2
3. 1. マクロ画面の種類	2
3. 2. 設定項目	3
オートシェイプ	3
罫線	4
グリッド設定	4
おまけ機能	4
表示するタブの設定	4
なんちゃって分度器の描画	5
描画後、選択した範囲のセル移動量	5

1. 目的

本マクロは、エクセルのオートシェイプ機能を使ってフローチャート・タイミングチャートをクリック数を出来るだけ少なくして描画する事を主眼に作成している。


また、おまけ機能として定型のマーク等も簡単に描画出来る様にします。

一旦描画した画像を拡大／縮小・回転させる時、オートシェイプのままではばらばらになってしまうので、複数のオートシェイプで1つの描画を行っているものは、画像に変換していく。

2. 基本的な使用方法

描画位置や大きさは、基本的には選択しているセルの大きさ及び位置を元に描画していますので描画したいセルを選択した状態からそれぞれの釦をクリックします。

① 描画したいセルを選択します。

② 右クリックしてメニューを出して、 タイミング&フローチャート支援(Z) を選択します。

③ 下図画面が出てきます。



④ 線種・矢印等を設定して、描画したい釦をクリックする事で描画します。

3. マクロ画面の説明

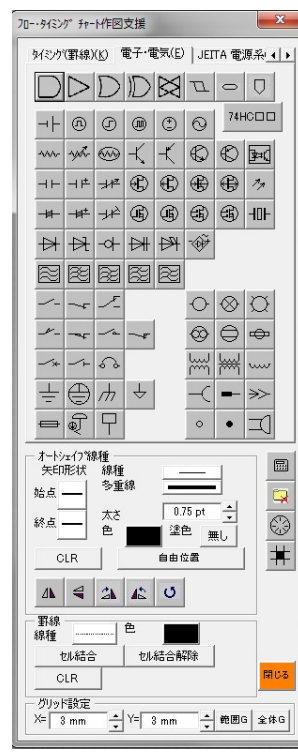
3. 1. マクロ画面の種類

現在のバージョンでは以下の種類があります。(基本的に、画面上のタブで切り替えていきます。)

フローチャート

タイミングチャート

タイミングチャート (野線) 電子・電気記号

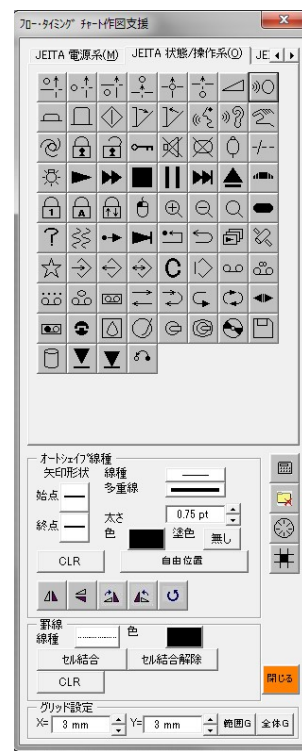


JEITA CP-1104B

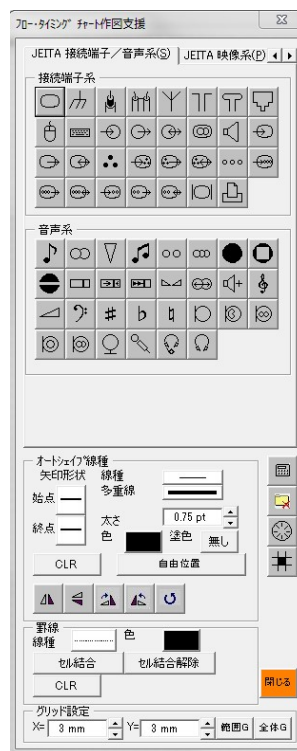
電源系



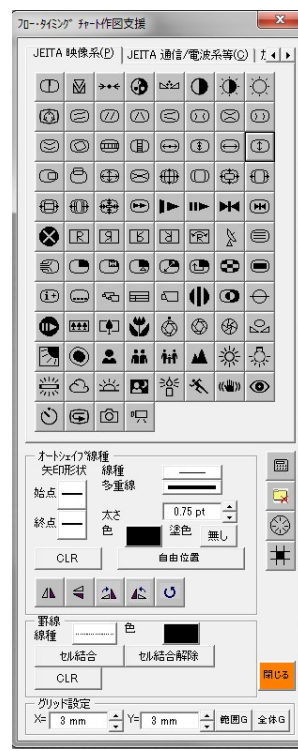
状態／操作系



接続端子／音声系



映像系



通信／電波系等

神代古代文字
カタカムナ文字

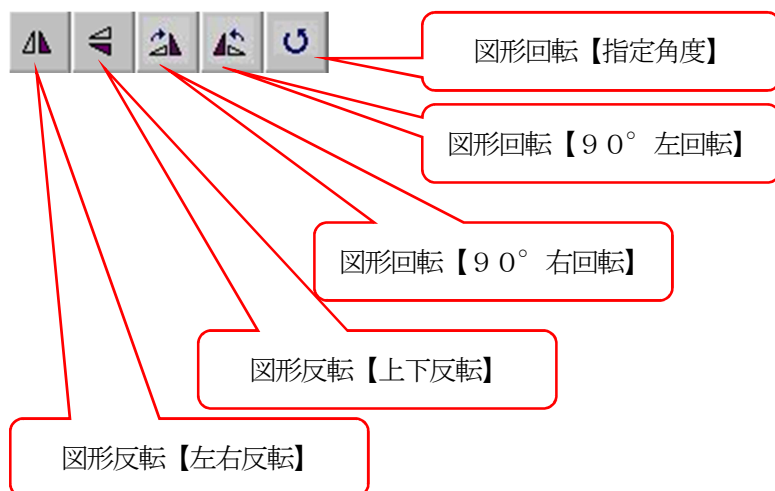
ラシテ文字



3. 2. 設定項目

オートシェイプ

始点・終点・線種・多重線・線幅・線色・塗潰し…オートシェイプで出来る設定図形を選択した状態で動作します。



自由位置 グリッド クリックする毎に切り替わります。

グリッド：セルの四隅を起点として移動・描画する時に選択します。

自由位置：セルの四隅以外でも自由に移動・描画する時に選択します。

CLR：選択したセル内にある図形を削除します。一部でも対象になります。

罫線

ここでは、タイミングチャート（罫線）専用の設定です。

線種・色…罫線で出来る設定

セル結合・セル結合解除…セルの結合と解除を選択したセルを基準に行います。

CLR：選択したセル内にある罫線をクリアします。

グリッド設定

最小単位は1 mmです。

範囲 G…選択したセルだけ指定したセルサイズにします。

全体 G…シート全体を指定したセルサイズにします。

おまけ機能



Windows 標準の電卓を起動します。

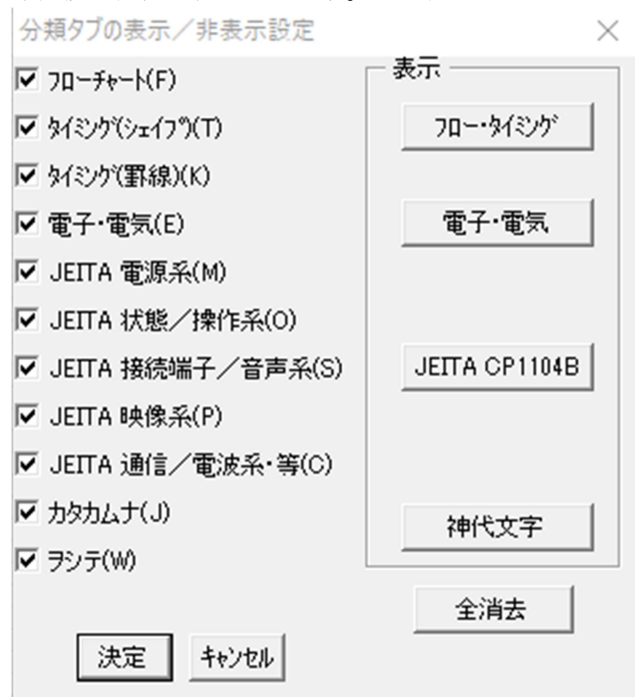
表示するタブの設定をします。

なんちゃって分度器を描画します。

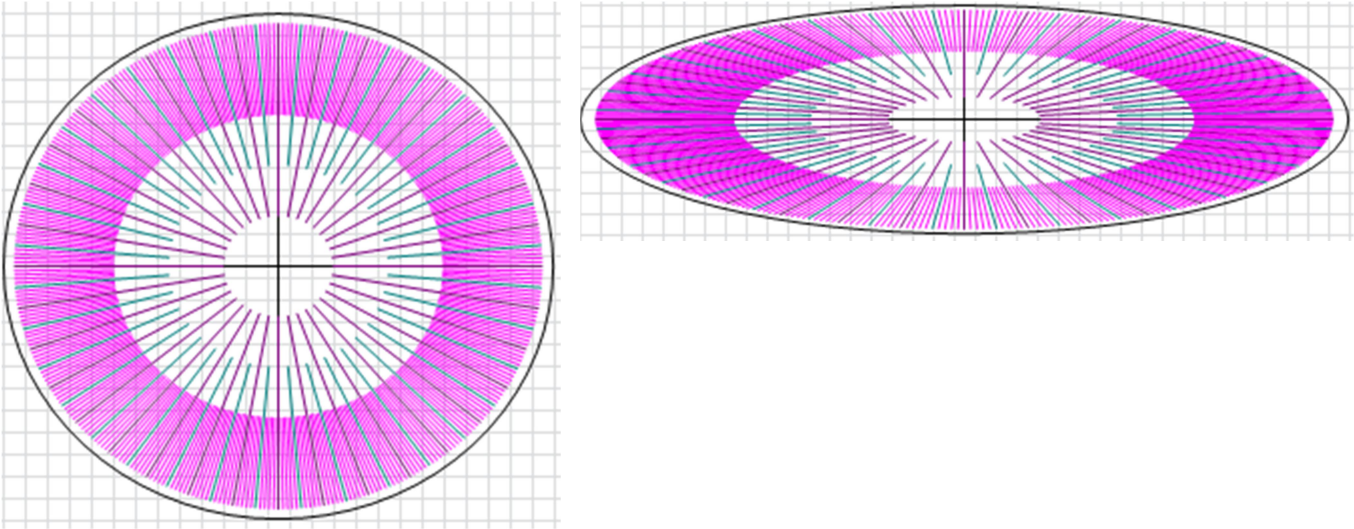
描画後、選択した範囲のセル移動量を設定します。

表示するタブの設定

下図設定画面が表示されます。チェックが入っている項目のみタブが表示されます。



なんちゃって分度器の描画



上図のような描画を、選択したセル範囲に応じて描画します。
※この機能は、新規描画作成時用ですので多分不要な機能だと思います。

描画後、選択した範囲のセル移動量

下図の様な設定画面が出てきます。

描画後のカーソル動作 ×

描画後、カーソル位置の移動

<input type="radio"/> 左上	<input type="radio"/> 上	<input type="radio"/> 右上
<input type="radio"/> 左	<input checked="" type="radio"/> 無し	<input type="radio"/> 右
<input type="radio"/> 左下	<input type="radio"/> 下	<input type="radio"/> 右下

空白セル数

決定

キャンセル

描画後に選択したセル範囲分選択した方向に選択範囲を移動します。

選択範囲を移動するとき設定数分だけセル間隔を空けます。